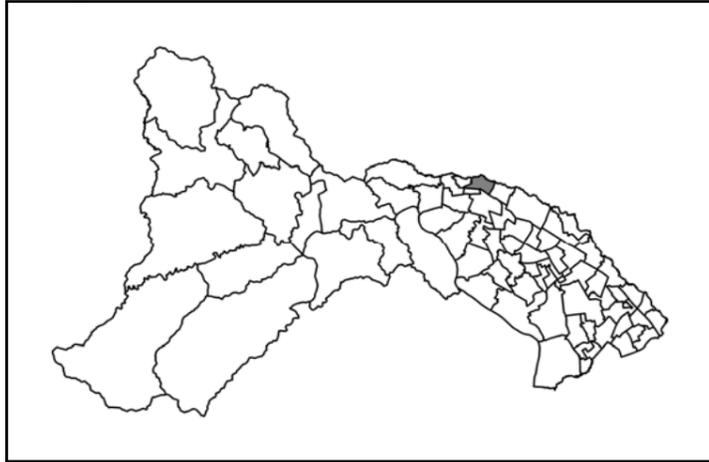


○地区を構成する町丁

【緑区】橋本5丁目～8丁目、元橋本町

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

橋本(橋本末広町, 自治会法人橋本仲町, 自治会法人橋本東町, 自治会法人橋本本町, 自治会法人橋本上町, 小山寿町)

○地区概況

台地(上段)にあり、北端を境川が流れる。東西をやや斜めにJR横浜線が通り、東端に橋本駅がある。主要な道路は、ほぼ中央を縦断する国道16号、国道16号から分かれて西に延びる国道413号、同じく国道16号から東に延びる県道505号橋本停車場線がある。県道505号橋本停車場線付近を境に、これより北側は境川に向かって土地が低くなる。全体に住宅地が多いが、橋本駅付近や国道413号沿いでは、商業施設、業務施設、公共施設等が多い。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)	
	区分	棟数		
建物	木造(昭和55年以前)	554 棟		
	木造(昭和56年以降)	1,197 棟		
	非木造(昭和55年以前)	100 棟		
	非木造(昭和56年以降)	539 棟		
	合計	2,390 棟		
人口	区分		人口(人)	
	区分	人口		
	0~4歳	599 人		
	5~64歳	9,963 人		
	65歳以上	2,062 人		
合計	12,624 人			

○所見

- ・境川沿いは土地が低い。
- ・橋本駅およびその周辺施設では、通勤時等に不特定多数の人が多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある(風向きによってはより重大な被害のおそれもある)。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	橋本駅連絡所, シティ・プラザはしもと, 橋本公民館, 就職支援センター
警察署	
消防署	
消防団詰所	
病院等	山瀬整形外科, 相模原みどりクリニック, はまくぼクリニック, やじま泌尿器科クリニック, 橋本みなみ内科本院, 森井整形外科
主な災害時要援護者施設	障害福祉サービス施設 一葉
幼稚園、保育園	橋本幼稚園, 星の子第2保育園, げんきっず保育園
学校、大学	県立橋本高等学校, 相原中学校, 旭小学校
避難所	相原中学校, 旭小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	県立橋本高等学校・相原中学校
防災備蓄倉庫	※県立橋本高等学校・相原中学校, 相原中学校, 旭小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	121 棟	5.1 %	81 棟	3.4 %	9 棟	0.4 %
建物焼失	10 棟	0.4 %	3 棟	0.1 %	0 棟	0.0 %
死者	8 人	0.1 %	5 人	0.0 %	1 人	0.0 %
閉込者	54 人	0.4 %	38 人	0.3 %	5 人	0.0 %
重傷者	11 人	0.1 %	8 人	0.1 %	1 人	0.0 %
軽傷者	66 人	0.5 %	55 人	0.4 %	18 人	0.1 %
避難所避難者(当日)	406 人	3.2 %	293 人	2.3 %	54 人	0.4 %
避難所避難者(1週間後)	1,179 人	9.3 %	1,038 人	8.2 %	436 人	3.5 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成 2年 8月 8日 床下浸水1戸、床上浸水1戸
平成10年 7月30日 床下浸水1戸

凡例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

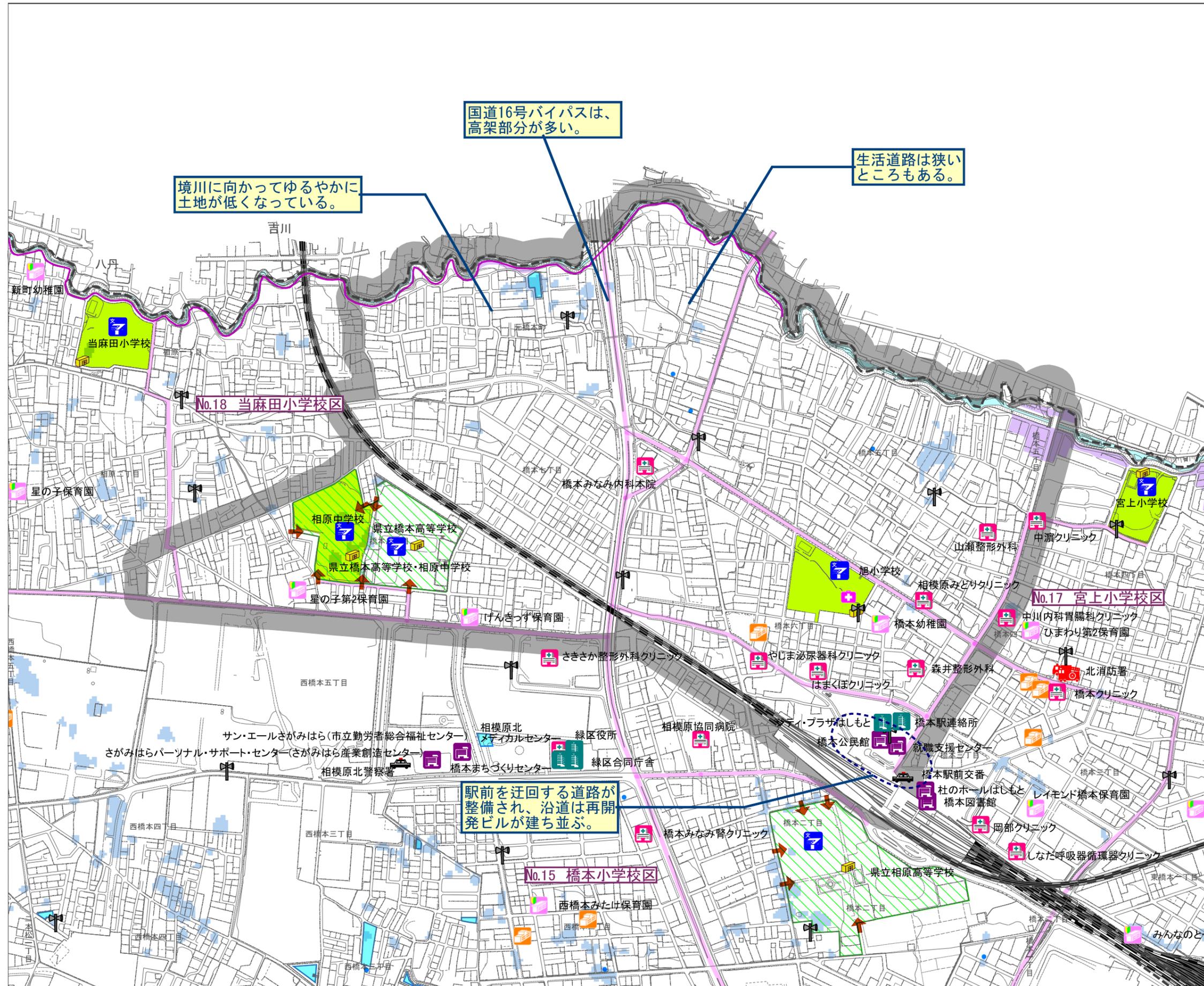
	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例:浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



国道16号バイパスは、高架部分が多い。

生活道路は狭いところもある。

境川に向かってゆるやかに土地が低くなっている。

駅前を迂回する道路が整備され、沿道は再開発ビルが建ち並ぶ。



1:7500